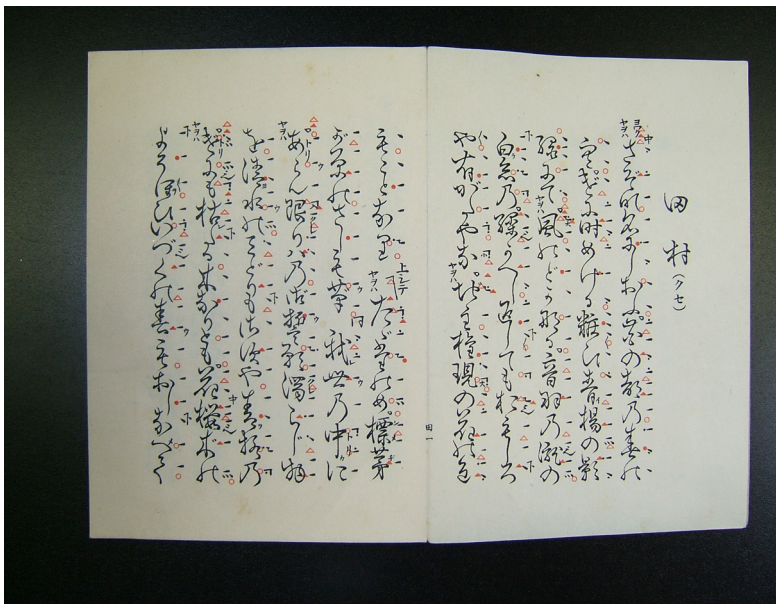


宝生重英 『宝生流地拍子稽古本 第一輯』

大正末から、宝生流は桐谷正治を中心に、地拍子普及活動を熱心に行った。本書の著作人が宗家になつてゐるのは、そういったことも関係してゐるだろう。収録曲（68頁と同じ）は、田村、熊野、鶉飼、船弁慶、鉢木、羽衣、清経、葵上、竹生島、紅葉狩、加茂、八島、櫻川、海人、芦刈、東北、小督、以上の「段、クセ、キリ」等。凡例には、地拍子の記号（粒）の種類の説明、拍子の枠（本地、片地、トリ、オクリ、四ツ地、間（ヤ、ヤア、ヤフ、ヤフハ）等の基本を説明する。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…宝生流地拍子稽古本 第一輯（題

簽）、宝生流地拍子稽古本 一輯

（函題簽）

著者 奥附…宝生重英

その他の場所…

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…わんや書店

出版年…昭和2（1927）

その他の場所…

形態 冊数…一冊十函 頁数…五二丁

寸法…18×13（cm）

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 折本。『宝生流地拍子正本 第一輯』と

同版。